

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	教職概論 (中・高)		
担当者(Instructors)	丹下 悠史	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
<p>教職の社会的・歴史的背景、教員の養成・採用・研修制度の動向といった教師を取り巻く社会的・制度的状況、学校における教師の職務や現代的諸課題を学ぶ。それらを通して、進路選択に資する教職のあり方を理解し、自身の適性を判断できるようになることを目指す。以上の内容を講義形式で行う。</p>			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式で行う。授業の内容に応じて、ディスカッションおよびグループワークを取り入れる。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の概要、教師になるために	はじめに講義の趣旨、内容、評価等について説明する。よい教師とはどのような教師か、各々の経験を手がかりに考察する。	<input type="checkbox"/>
第2回	教師とは何か(1)：教員の存在意義と教職の職業的特徴	社会における教員の存在意義、教職の職業的特徴について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	教師とは何か(2)：教職観の変遷と教員に求められる役割、資質・能力	教職観および教員に求められる役割、資質・能力の変遷を理解し、自身の課題を考察する。	<input type="checkbox"/>
第4回	学び続ける教師(1)：教員の養成制度：大学における教員養成の特質と課題	教員の養成制度の概要を理解し、大学における教員養成の特質と課題を考察する。	<input type="checkbox"/>
第5回	学び続ける教師(2)：教員の採用制度：採用制度の歴史と今日的課題	教員の採用制度の概要を理解し、免許主義、教員採用試験の課題を考察する。	<input type="checkbox"/>
第6回	学び続ける教師(3)：教員の研修制度：教師のキャリア形成・リーダーシップの獲得	教員の研修制度の概要を理解し、教師のキャリア形成・リーダーシップの獲得における課題を考察する。	<input type="checkbox"/>
第7回	教育公務員の服務・身分上の義務・身分保障	教育公務員としての教師の服務・身分上の義務・身分保障を理解する。	<input type="checkbox"/>
第8回	教師をめぐる現代的課題	現代の学校が直面する諸課題を理解し、これからの学校・教員の在り方を考察する。	<input type="checkbox"/>
第9回	教師の職務(1)：生徒指導及び指導以外の公務	教科指導・生徒指導および指導以外の公務の内容を知り、授業や子どもの理解を深めることの重要性を理解する。	<input type="checkbox"/>
第10回	教師の職務(2)：学級運営と学校運営	学級運営および学校運営の内容を理解し、組織としての学校の特性を考察する。	<input type="checkbox"/>
第11回	教育に関する課題への対応(1)：子どもの諸問題と生徒指導	現代における子どもの諸問題と、それに応じた生徒指導のあり方を考察する。	<input type="checkbox"/>
第12回	教育に関する課題への対応(2)：キャリア教育等現代的課題の指導	キャリア教育等、教育政策上の課題とそれらの教育活動への導入のあり方を考察する。	<input type="checkbox"/>
第13回	教育に関する課題への対応(3)：多様な専門的人材との連携・チームによる諸課題への対応	多様な専門的人材との連携やチームによる諸課題への対応等、今後の学校組織のあり方を考察する。	<input type="checkbox"/>
第14回	よい教師の条件、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて	これまでに学んだ内容を受けて、よい教師とは何かを改めて議論する。	<input type="checkbox"/>
第15回	本授業のまとめ、教師になるための道すじ	授業内容を振り返り、教職の性格、教師に求められる能力について理解が深まっているかを明確化する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、テキストまたは参考図書から次回の講義内容に関連する箇所を指定し、当日までに2時間程度の学習（読解・要約）を課す。事後学習として、講義の終わりに提示した問いに対し、授業内容およびテキスト、参考図書を参照して2時間程度で自分なりの解答をまとめることを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内課題は採点して返却し、次回の授業に解答例と解説を示す。期末の筆記試験は、実施後、LMSに解答例と解説を示す。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 教職課程	1. 学校教育の目標、方法、評価に関する基礎的理論を体系的に説明できる。 2. 教育活動の特質に応じて適切な指導法を選択し学習指導案を作成できる。 3. 情報機器の特性を理解し、教育目的に応じて活用すべき場面や活用法を判断できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
30%			70%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業の各回の終わりに課す課題（5点×14回（第1回～第14回）、合計70点）

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	文部科学省「中学校学習指導要領」（インターネットからダウンロード可）平成29年3月告示	978-4827815580
2	文部科学省「高等学校学習指導要領」（インターネットからダウンロード可）平成30年3月告示	978-4827815672
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	伊藤元『ワークで学ぶ教職概論』ナカニシヤ出版	978-4000260053
2	佐久間亜紀・佐伯胖編著『現代の教師論』ミネルヴァ書房	978-4641221253
3		
4		
5		